



希望の ひかり

第10回

市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報をお届けします

国内研究者組織による、国内候補地一本化の決定が待たれるILC計画。決定が8月下旬にすれ込むとの報道がありました。予定どおり7月末に決定される見通しです。今回は、この公表時期のことや、6月中に開催されたILCに関係する市内外の動きについてお知らせします。

国内候補地一本化とその後 の流れ

ILCの国内候補地となっているのは東北の北上山地と九州の脊振山地の2カ所。両候補地ではすでに、国内研究者によって組織されたILC立地評価会議に地質などの技術評価資料と住環境などの社会環境基盤評価資料の提出を済ませています。同会議では、この資料を基に立地評価を行い、その結果を世界の研究者に示したうえで、7月末に国内候補地を公表する予定としています。

研究者による国内候補地の公表後は、政府がILCを正式な国家プロジェクトとして位置づけるかどうかは課題となります。首相官邸の特別

機関「日本学術会議」では現在、文部科学省からの依頼によって検討委員会を設置し、国内誘致の意義などについて議論を進めています。議論の結果は8月末までに文部科学省へ

■表 ILC国内候補地一本化スケジュール（予定）

時期	内容
3月～	ILC立地評価会議による両候補地の技術評価・社会環境基盤評価
6月～	日本学術会議検討委員会によるILC国内誘致の意義などに関する議論
7月末	ILC立地評価会議による評価結果の公表
8月末	日本学術会議から文部科学省への検討結果の答申
9月～	政府による公式見解の公表

答申する予定となっており、政府が秋の臨時国会で対応を表明する見通しです。

高エネルギー加速器研究機構の鈴木厚人機構長から「日本学術会議の日程と研究者の日程に差があるため、双方で日程調整を行う予定。研究者としては、7月末までの一本化の方針に変わりはない」とコメントをいただいています。

市は、引き続き市民の皆さんに向けてILCの情報を発信するほか、この地域の魅力を積極的にPRします。また、県や一関市、東北ILC推進連絡協議会などと連携して、政府にILCを正式な国家プロジェクトとして位置づけるよう、要望活動などを行っていきます。

講演会で地元の熱意をアピール

国際経済政策調査会（高橋佑理事長）が主催するILC講演会が6月21日、市民文化会館（Zホール）で開催されました。この日は、約千人の参加者が会場に詰めかけ、ILCの東北誘致実現に向けた地元の熱意をアピールしました。

東京大学素粒子物理国際研究センターの山下准教授が「国際リニアコライダー（ILC）計画実現に向けて」と題して講演。山下准教授は、

北誘致に向けて結束を深めました。

地質調査結果の報告

昨年11月からことし5月にかけて、江刺区内などで実施された地質調査の結果報告会が6月23日、伊手地区センターで開催されました。東北大学大学院の佐貫智行准教授などが、参加した約30人の地元住民に調査の内容と結果を報告しました。

佐貫准教授は調査結果について、「ILCを作るといふ点では、非常に適しており、技術的な問題は全くない」と説明し、北上山地がILCの建設に適していることを改めて強調しました。



パネルトークで国際都市形成に向けた課題について議論された

国際都市奥州市を考える

市と市国際交流協会（佐藤剛会長）は「国際都市奥州市について考える」ILC誘致とまちづくり」と題したパネルトークを6月13日、奥州宇宙遊学館で開催しました。

パネルトークでは、3人のパネリストがILC東北誘致の実現を見据え、外国人研究者とその家族が快適に暮らすために必要な環境の整備について意見を交換。市内の民間企業や団体などから参加した約50人は、環境整備の必要性について理解を深めました。

パネリストは、県立大学総合政策

県民集会でILCの誘致を 決議

県国際リニアコライダー推進協議会（元持勝利会長）主催による県民集会「岩手の将来を拓く国際リニアコライダー講演会」が6月29日、盛岡市で開催されました。

この日は、ドイツ・マインツ大学の齋藤武彦教授や国立天文台理論研究部の小久保英一郎教授の講演会が行われたほか、来場した県民約400人の満場一致で「ILCの東北誘致に関する決議」を採択。ILC東



佐貫准教授の説明に耳を傾ける参加者

特設サイトQ&Aコーナーを開設

市ILC特設サイトでは、市民の皆さんが抱くILCに対する疑問や不安などを解消するため、Q&Aコーナーを開設しました。

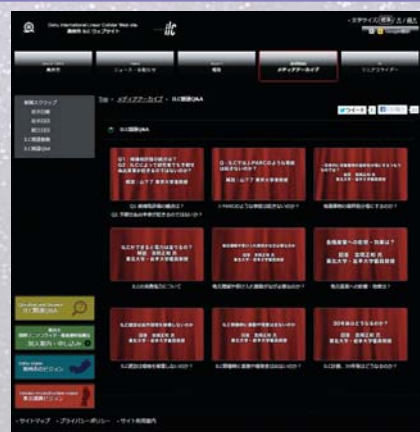
このコーナーでは、「電力は足りるのか」「核廃棄物の最終処分場になるのでは」といった内容に、専門家が解説している動画を掲載しています。

特設サイトトップページ左下にあるバナーから見るができますので、ぜひご覧ください。

■ILC特設サイトアドレス <http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/ilc/>
※市ホームページのバナーからもアクセス可能

奥州市ILCウェブサイト

検索



ILCの意義などについて語る山下准教授

今が国内候補地一本化に向けた最終段階にあることを説明しました。ILC計画実現の課題として「国が手を挙げることでオールジャパン体制を作ること」と述べ、日本全体で誘致に取り組む必要性を訴えました。

技術設計書が完成

ILC計画を推進する研究者などによる記念式典「ワールドワイドイベント 設計から実現へ」が6月12日、東京大学で開催されました。ILCの技術設計書の完成を記念したこの式典には、約130人の研究者や関係者などが出席し、ILC計画の実現に向け、次の段階に入ったことを確認しました。